

令和4年度

寒川町がん検診

問い合わせ 健康づくり課

0467-74-1111 内線263、266

対象は、受診時寒川町に住民登録がある人で、年齢や性別が該当する人です。職場などで検診を受ける機会が無い人はご利用ください。

受診には受診券が必要です。受診券がお手元にない人は、事前に健康づくり課にお問い合わせください。

種目	対象者(令和5年3月31日時点の年齢)	内容	自己負担	
			集団検診	施設検診
胃がん	40歳以上75歳未満	胃部X線撮影	1,500円	3,100円
	50歳以上偶数歳	胃内視鏡検査		5,000円
大腸がん	40歳以上	便潜血反応検査	400円	1,000円
肺がん		胸部X線撮影	400円	1,000円
子宮がん	20歳以上 偶数歳女性	細胞診検査(頸部のみ)	1,200円	2,000円
		細胞診検査(頸部・体部(医師の判断により実施))		3,500円
	21歳無料受診対象者	細胞診検査(頸部のみ)	無料	無料
乳がん	40歳代 偶数歳女性	マンモグラフィ(乳房X線撮影2方向)のみ	1,800円	2,000円
		マンモグラフィ(乳房X線撮影2方向)+視触診	2,500円	3,000円
	41歳無料受診対象者	マンモグラフィー/マンモグラフィー+視触診	無料	無料
	50歳以上 偶数歳女性	マンモグラフィ(乳房X線撮影1方向)のみ	1,300円	1,500円
マンモグラフィ(乳房X線撮影1方向)+視触診		2,100円	2,500円	
各種目	上記条件かつ75歳以上	同上(*胃部X線撮影は集団検診では受けられません)	0円	0円

※対象年齢は令和4年4月1日～令和5年3月31日の間に誕生日を迎える年齢で算定します。

◆集団検診

がん検診の各種目は定員制、先着順です。

検診日	申込期間	予約可能種目				
		胃	肺	大腸	子宮	乳
6月 17日(金) 1日	5月 6日(金)～5月 12日(木)	○	○	○	○	○
7月 20日(水) 1日	6月 6日(月)～6月 10日(金)	○	○	○	○	○
8月 21日(日) 1日	7月 4日(月)～7月 8日(金)	○	○	○	○	○
9月 21日(水) 1日	8月 1日(月)～8月 5日(金)	○	○	○	○	○
10月 20日(木) 1日	9月 1日(木)～9月 7日(水)	○	○	○	○	○
12月 14日(水) 1日	11月 1日(火)～11月 8日(火)	○	○	○	○	○
1月 14日(土) 1日	12月 1日(木)～12月 7日(水)	○	○	○	○	○

検診場所 健康管理センター

申し込み 申込期間内に健康づくり課へ電話・郵送・Fax・電子申請にてお申込みください。 ↓がん集団検診詳細。

持ち物 検診日の約1週間前に郵送される通知をご確認ください。

◆施設検診

期間 4月1日～令和5年2月28日

検診場所・申し込み 町内及び茅ヶ崎市の実施医療機関(さむかわ健康だより参照)


持ち物 がん検診受診券(※受診券がないと、受診できません。)

本人確認ができるもの 顔写真入りのもの(運転免許証など)なら1つ

顔写真のないもの(健康保険証、通帳)なら2つ以上



◆受診券をもらうには、どうすればいいの？

申請なしで受診券が届く人	申請しないと受診券が届かない人
<p>40歳以上の町国民健康保険加入者 町特定健康診査の受診券と併せて郵送します。 健康診査と同時に受診するとお得！（6月上旬） 40歳肝炎ウイルス健診対象者（6月上旬）</p> <p>無料受診券を対象者に5月頃郵送</p> <p>※ 21歳女性・細胞診検査（頸部のみ） ※ 41歳女性 マンモグラフィー/ マンモグラフィー＋視触診</p> 	<p>①39歳以下の方 ②町国民健康保険以外の方 ③生活保護受給者</p> <p>①②の方は電話・FAX・直接窓口・郵送にて発行できます。</p> <p>③の方は直接窓口まで生活保護受給者証をご持参ください。</p> <p>* 窓口発行の場合は、本人確認できるものが必要です。 （顔写真入りのものは1つ、他は2つ）</p>

◆それぞれのがんの特徴、どんな検査を受けるの？

※注意事項等、詳細はさむかわ健康だよりをご覧ください。

胃がん検診

バリウムを飲んで受けるX線検査です。50歳以上になったら、偶数歳のときに内視鏡検査（施設検診のみ）ができます。

胃がんは、早く発見すれば9割方治ります。しかし、進行してから見つかったら治療が難しくなり、その差が大きいため、早く見つけることが重要です。

肺がん検診

肺のレントゲン撮影をします。医師の判断で喀痰検査を受ける場合もあります。

肺がんは、日本人のがんの部位別死亡数の第1位で、亡くなる人が増え続けています。

たばこが大きく影響し、煙を吸うだけでもがんになるリスクが高くなります。

大腸がん検診

便の中に血液が混じっているか、2日分の便を検査します。

大腸がんは食生活の欧米化の影響で、男女とも急増しています。特に女性では部位別死亡率のトップです。

乳がん検診

マンモグラフィというX線を用いた検査です。視触診も追加できます。

日本人女性のがんで最も発症率の高いがんです。9人に1人が生涯に一度は発症するといわれ、30歳代後半から増えています。

41歳女性には、無料受診券を郵送で送付しています。

子宮頸がん検診（偶数歳の女性）

検診では、がんになる前の「異常」を見つけることができます。

ブラシやヘラで頸部（子宮の入り口）の細胞をこすり取って調べる検診です。

子宮頸がんは20～30歳代に増えており、30～40歳代がピークです。

21歳女性には、無料受診券を郵送で送付しています。

一方、子宮体がんは50～60歳代に多く見られます（体がん検診は施設検診のみ）。

※対象年齢は令和4年4月1日～令和5年3月31日の間に誕生日を迎える年齢で算定します。